

ぶどう赤系大粒種の簡易被覆栽培

1. 試験のねらい

近年、甲斐路などの赤系大粒種が、導入されつつある。しかしながら赤系大粒種は、一般的な特徴として裂果及び縮果の発生が多い、病害に弱いなどの欠点を持っており、露地条件での栽培を困難なものにしている。そこで、簡易被覆栽培による生産安定効果を平成2～5年に検討した。

2. 試験方法

紅やまびこ（台木：テレキ5C）、ルビーオクヤマ（台木：ムモウテレキ）、甲斐路（台木：テレキ5BB）を供試し、屋根の部分のみ開花2～3週間前から収穫終了後まで被覆したパイプハウス（6a、間口2.5m×30m×8棟、棚上1.4m、厚さ0.075mmサクビ使用）内に栽植し、生育特性、結実性、裂果及び縮果発生率、果実品質、気温を露地栽培を対照として調査した。

3. 試験結果および考察

- (1) 被覆区の気温（棚面）は、露地に比べ平均気温で0.5～3℃、最高気温で2～6℃程度高く推移したが、最低気温は露地との大きな差はなかった（図表略）。
- (2) 開花期には、明らかな差は認められなかった。収穫期は、被覆区での着色の進みが遅かったため、収穫盛りで2～7日遅くなった（表-1）。
- (3) 結実は、被覆によりどの品種も向上する傾向がみられたが、紅やまびこは被覆区でも十分な結実は得られなかった（表-2）。
- (4) 裂果は、紅やまびことルビーオクヤマで発生がみられ、被覆区での発生が少なかった。縮果は、甲斐路とルビーオクヤマで発生がみられ、被覆区での発生がやや少なかった（表-3）。
- (5) 果房重及び果粒重は、被覆により大きくなる傾向がみられた。着色は、被覆により劣る傾向がみられ、甲斐路ではその傾向が顕著であったが、収穫約1ヶ月前に除袋することで改善された。糖度は、甲斐路が被覆区で高かったものの、他の品種では大きな差はなかった。酸度は、どの品種も大きな差はなかった（表-4）。
- (6) 病害の発生については、ルビーオクヤマと甲斐路が露地でのべと病の発生が多かったが、被覆区での発生はみられなかった。

4. 成果の要約

ルビーオクヤマ及び甲斐路は、被覆により裂果及び縮果の発生が軽減され、病害の発生もみられなくなることから、簡易被覆により生産が安定すると考えられた。ただし、これらの品種は、夏季の新しょう管理や除袋などの着色管理の徹底が必要である。紅やまびこは、花振るいがはげしく、簡易被覆による栽培は困難であった。

（担当者 果樹部 蓬田 武）

表 - 1 生育特性

品 種 名	処 理 区	開 花 期			収 穫 期		
		始	盛	終	始	盛	終
甲 斐 路	被 覆	6.15	6.18	6.21	10.11	10.17	10.18
	露 地	6.15	6.18	6.21	10. 8	10.11	10.14
紅やまびこ	被 覆	6.12	6.14	6.16	9.15	9.19	9.23
	露 地	6.10	6.13	6.15	9.14	9.17	9.20
ルビ-オクヤマ	被 覆	6.16	6.19	6.22	10. 7	10.14	10.16
	露 地	6.16	6.19	6.23	10. 2	10. 7	10.12

注. 甲斐路、紅やまびこは平成3~5の平均値、ルビ-オクヤマは平成3~4年の平均値。

表 - 2 結実程度

品 種 名	処 理 区	1房当たり有核粒数別果房分布 %			
		15粒未満	15~25粒未満	25~35粒未満	35粒以上
甲 斐 路	被 覆	6.8	22.8	41.9	28.5
	露 地	8.9	32.6	36.1	22.5
紅やまびこ	被 覆	33.6	44.5	21.3	0.4
	露 地	43.9	46.3	8.9	0.9
ルビ-オクヤマ	被 覆	1.6	10.5	53.7	34.2
	露 地	0.9	17.3	51.4	30.3

注. 甲斐路、紅やまびこは平成2~5の平均値、ルビ-オクヤマは平成2~4年の平均値。

表 - 3 裂果及び縮果の発生率

品 種 名	処 理 区	着粒数	裂果粒率	裂果房率	縮果粒率	縮果房率
			%	%	%	%
甲 斐 路	被 覆	28.7	0.0	1.2	6.4	57.3
	露 地	25.4	0.0	0.0	9.2	68.7
紅やまびこ	被 覆	20.7	0.8	11.0	0.0	0.0
	露 地	19.1	2.9	31.9	0.0	0.0
ルビ-オクヤマ	被 覆	29.7	7.2	50.6	0.5	10.3
	露 地	28.8	11.2	69.4	0.7	12.9

注. 甲斐路、紅やまびこは平成3~5の平均値、ルビ-オクヤマは平成3~4年の平均値。

表 - 4 果実品質

品 種 名	処 理 区	果房重	果粒重	着 色	糖 度	酸 度
		g	g	カラ-チャート	%	%
甲 斐 路	被 覆	220.3	8.0	2.8(4.2)	20.3	0.59
	露 地	164.4	7.4	3.8(4.3)	19.3	0.60
紅やまびこ	被 覆	201.5	11.0	4.7	18.9	0.50
	露 地	169.3	10.3	5.0	18.8	0.51
ルビ-オクヤマ	被 覆	255.4	9.7	4.5	15.8	0.56
	露 地	220.3	9.9	5.1	15.4	0.53

注1. 甲斐路、紅やまびこは平成2~5の平均値、ルビ-オクヤマは平成2~4年の平均値。

2. 着色の()内の数値は収穫約1ヶ月前に除袋した果房の数値(平成4~5年の平均値)。